職員派遣のご案内 2020

JFM

Japan Finance Organization for Municipalities

金融で地方財政を支え　地域の未来を拓く

地方公共団体金融機構

Japan Finance Organization for Municipalities

地方公共団体金融機構（JFM）のご案内

理事長挨拶

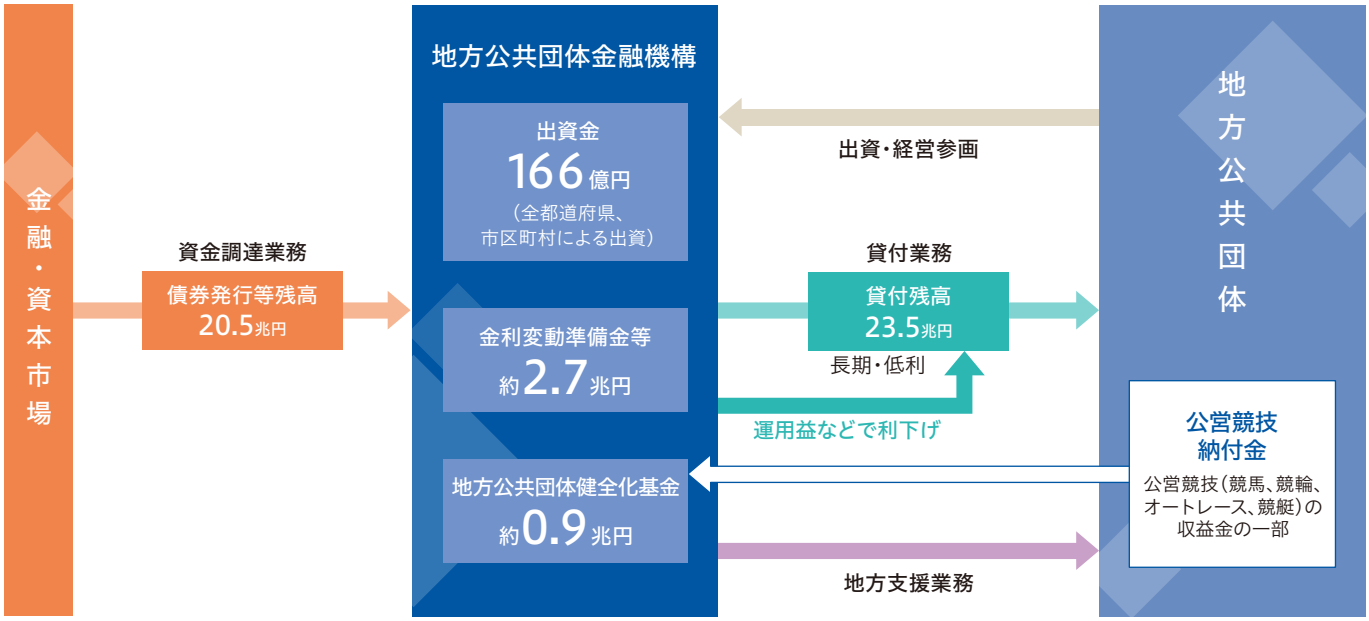
地方公共団体金融機構では、全国の地方公共団体から派遣された多くの職員が活躍しています。こうした活躍を支えるため、金融や行財政に関する専門的な知識を学ぶ研修や教育の機会を豊富に提供しております。また、派遣期間中は、当機構において単身用・家族用宿舎を準備しており、安心して生活していただけます。

さらに、当機構には、全国からの派遣の方々に加え、総務省からの出向、民間の金融機関のスペシャリストと、多彩な顔ぶれが集い、一生の財産となる「人」のネットワークを築くことができます。

このように、当機構への職員派遣は、地方公共団体の職員の皆様にとって貴重な経験を積み成長する良い機会となるものと考えておりますので、人材育成の一環として、当機構を御活用くださると幸いです。

地方公共団体金融機構
理事長　瀧野欣彌

JFMの基本的な仕組み



（計数は平成30年度末）

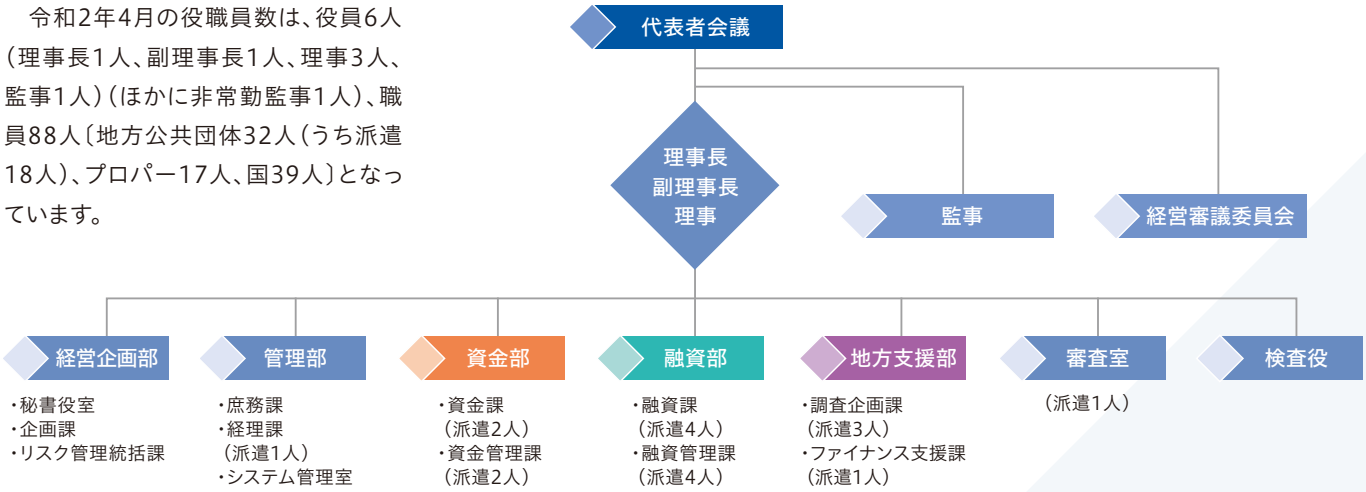
◈ 地方公共団体金融機構（JFM）とは

全ての地方公共団体の出資による地方債資金共同調達機関

地方公共団体に対して長期かつ低利の資金を融通し、地方公共団体の財政の健全な運営等に寄与します。
また、地方公共団体が資本市場からの資金調達を効率的に行っていくために必要な支援を実施します。

◈ 組織図

令和2年4月の役職員数は、役員6人（理事長1人、副理事長1人、理事3人、監事1人）（ほかに非常勤監事1人）、職員88人〔地方公共団体32人（うち派遣18人）、プロパー17人、国39人〕となっています。

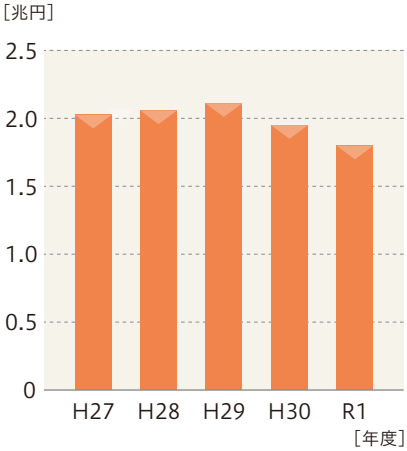


◈ JFMの主な業務

資金調達業務

地方公共団体の資金調達機関として、地方公共団体に対し長期かつ低利の資金を調達するため、その原資となる資金について調達コストの低廉化を図りながら、安定的に調達を行います。

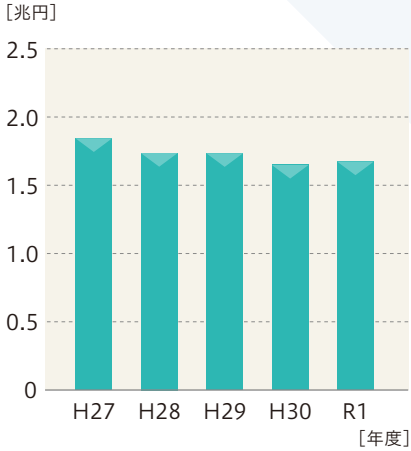
資金調達額（実績）



貸付業務

地方公共団体による資本市場からの資金調達を効率的かつ効果的に補完するため、地方公共団体に対しその地方債について長期かつ低利の資金を融通し、これによって地方公共団体の財政の健全な運営及び住民の福祉の増進に寄与します。

貸付額（実績）



地方支援業務

地方支援業務として、地方公共団体のニーズを把握し、財政運営等の課題について調査研究を実施し、その成果を含めて人材育成・実務支援・情報発信といった支援を実施しています。

このうち、人材育成では、財政運営の健全性を確保する上で必要不可欠な財政・金融に係る知識を習得するためのセミナー・研修等を実施しています。

また、情報発信では、資金調達や財政運営において参考となる先進事例、経済・金融データ、金融知識等、実務に活用できる情報を発信しています。

01

大森 雅夫 市長

岡山県
岡山市

市政を客観的に見る目を持って
市の発展に貢献する人材を増やしたい

中四国を牽引する存在として
積極的な企業誘致に取り組む

岡山市は鉄道・道路など、高速交通網のクロスポイントに位置する都市として発展を続け、平成21年4月には全国18番目となる政令指定都市に移行しました。市街地の中心に位置するJR岡山駅からは、岡山城・岡山後楽園や美術館、博物館等に手軽にアクセスできるほか、周辺部には古代吉備の繁栄を現在に伝える数々の遺跡群や、陣屋町、門前町、宿場町といった風情豊かな街並みなどもあり、歴史・文化資源に恵まれています。

さらに、わが国初の国立公園に指定された瀬戸内海の海産物を用いた豊かな食文化や、桃やぶどうをはじめとする高品質な果物が豊富にあり、観光都市としての多彩な魅力を備えています。

また、企業誘致にも積極的に取り組むことで、一定の成果が出ているところであり、今後とも中四国を牽引する都市として中核的役割を担っていきたいと考えています。

そのためにも職員の育成は重要で、国、県等への若手職員の派遣や相互交流等を積極的に行い、多角的な人材育成と資質の向上、組織間の関係強化などを図っています。また、若手職員が多様な部門を経験できるよう早めの人事異動を行っており、特に女性職員は出産・育児期を迎える前に複数部門を経験できるよう男性職員より早い人事異動でキャリア形成を支援しています。

大きな視点を持つことで
変える勇気を養って欲しい

地方公共団体金融機構をはじめとする外部機関への派遣は、職員の意思を尊重しつつ積極的に行っており、人、モノ、情報が行き交う場所で多くの刺激を受け、成長してほしいと願っています。また、経験を自分だけのものとせず、岡山市に戻ってきたときに、さまざまな形でフィードバックしてもらえることを期待しています。

現在も1名の職員を機構に派遣しております。“経済の血液”である金融業務に携わることは、お金の流れや企業の動きをリアルタイムに感じられるでしょうし、機構には総務省をはじめ全国の自治体や民間金融機関などから多様な人材が集まっているので、人脈形成の貴重な機会と捉え、積極的な姿勢で学んでほしいと思います。

今後も、職員派遣については積極的に進めていきたいと思います。地元を離れ、市政を客観的に見る目を持つことで、仕事の目的・本質を大きな視点で捉え、おかしいと思ったら変えていく勇気を養って欲しいと思っています。市民の幸せと将来の岡山市の発展に尽くせる人材を増やしていきたいと考えています。

来てみて! 岡山後楽園

日本三名園のひとつで、岡山藩2代藩主・池田綱政が造営。藩主の居間である延養亭からは、園内外の景勝が一望できます。

Okayama City

02

岩手県
花巻市

上田 東一 市長

発行者の視点で地方債を学ぶことで金融の専門性が高まる

若者の力を活かしたまちづくりで社会減ゼロを達成

詩人・童話作家である宮沢賢治の生誕地として知られる花巻市は、新渡戸稲造や高村光太郎といった文化人とも縁の深い街です。市内には温泉郷や空港もあり、国内だけでなく海外からも観光客が訪れるなど、北東北指折りの観光拠点となっています。さらに、プロ野球選手やメジャーリーガーを数多く輩出している花巻東高校と富士大学や、活躍している選手たちは我々市民の誇りであり、元気の源にもなっています。

花巻市は2006年に4市町合併のもと誕生しました。大きな都市となりましたが、同時に課題も出てきています。合併時11万人だった人口が、現在は9万5千人ほどに減少しており、なかでも20代女性の流出が目立ってきています。これは、大学卒業を機に首都圏に就職する方が多いことが要因です。

この課題を解決するため、駅前の老朽化した施設などを再生し、地域活性化につなげる「リノベーションまちづくり」に取り組んでいるほか、住みたい街としての魅力づくりにも力を入れています。ベッドタウン的な側面がある花巻市において、人が住む地域としての魅力を高めることは、定住人口の確保に向けた重要な施策になります。そのために近年は「若者による、若者にとって魅力的なまちづくり」に注力しています。市内の若者を中心に、地元のデパートをリノベーションし、人気の飲食店「マルカン大食堂」として復活させたのはその一例です。こうした取り組みが功を奏し、2019年は社会減ゼロ（届出ベース）を達成することができました。

他団体職員との絆を深めながら金融の専門知識が身につく

複雑化する市の政策や、国のさまざまな施策を実行するため、地方公共団体の職員には、これまで以上に専門的な知識やスキルが求められるようになってきています。こうした状況に対応するため、花巻市では省庁や大学など外部の組織に人材を派遣し、職員の専門性を高める機会を積極的に設けています。

取り組みの一環として、地方公共団体金融機構にも現在1名の職員を派遣しています。花巻市では経験できないような業務を経験し、地方債について発行者の視点で学ぶことで、金融に関する専門性が高まることを期待しています。また、各地域から派遣された職員と交流することで芽生える絆は、職員にとっても花巻市にとっても非常に重要なものになると確信しています。私も市政に携わる以前は民間企業に勤めていましたが、その頃に築いた同僚との絆は大きな財産になっています。

機構での経験は若い職員の成長につながる貴重な機会ととらえており、今後も派遣を前向きに検討するとともに、各種研修メニューも活用させていただきたいと考えています。

来てみて！ 宮沢賢治記念館

ゆかりの地、花巻市胡四王山に開館した、多彩なジャンルに及ぶ宮沢賢治のイーハトーブの世界との出会いの施設です。

Hanamaki City

03

宮崎県
宮崎市

戸敷 正 市長

市民の目線に立ち現場の声を反映できる人材の育成を目指す

「株式会社」という発想で市民が主役のまちづくりを

一年を通して日当たりが良く、温暖な宮崎市では、ピーマンやマンゴーをはじめとする農業や、宮崎牛、地鶏などの畜産が盛んです。冬場でも暖かく安定した気候が続くため、野球やサッカーといった、さまざまなプロスポーツチームのキャンプ地にも選ばれています。また、初代天皇である神武天皇の生誕地としても知られており、古事記や日本書紀などの書物にも登場する歴史ある都市です。

その一方で、近年は若い世代の県外への流出が課題となっています。これは宮崎市だけの問題ではなく、宮崎県全体の問題としてとらえており、県都である宮崎市が人口流出を止めるダム機能を担っていきたいと考えています。

そのためにも、私は就任以来、「株式会社　宮崎市役所」という会社的な発想をもって業務にあたるよう、職員に伝え続けています。これは、1円も無駄にせず投資に回すことで、市民の利益拡充につなげていくという考え方です。私が信条とする、「市民が主役の市民のためのまちづくり」を行うためには、「株主」である市民からいただいた税金や、国からいただいた補助金を、いかに効率良く市民のために活用していくかが大切です。この循環が市内の住民や企業を元気にし、地域活性化の基盤になっていくと考えています。

今後、若い世代を定着をさせていくためには、将来性のある情報の収集や把握、分析を行い、的確に仕事をこなせる人材を育てていくことが一番重要になります。「株式会社 宮崎市役所」という発想を軸に、経営的なノウハウをもちながら、市民目線で現場の声を行政に反映できる職員の育成が現在の目標です。

機構を訪問して実感した人材育成への影響力

地方公共団体金融機構には、現在1名の職員を派遣しています。機構で財政の重要性を再認識し、税金を活かしたまちづくりのための専門的な知識を身につけてほしいと願っています。

また、地元を離れ東京から宮崎を見つめることで、地元の課題を俯瞰的にとらえ、課題解決へ導く高所からの視点を身につけることができると考えています。宮崎では体験できない業務や研修の経験は、宮崎市の行政全体に対するアプローチの仕方に変化を及ぼすだけでなく、職員自身の将来性も育てるはずです。

以前機構を訪問させていただいた際、基本となる機構の考え方や、日本全体の将来を見据えた指導内容に触れ、ここなら大切な人材の育成につながると実感しました。職員にとってかけがえのない経験になるとともに、「株式会社 宮崎市役所」を力強く後押ししてくれると思うので、今後も継続していきたいです。

来てみて! 天ケ城公園の千本桜とツツジ

「千本桜」と呼ばれるソメイヨシノは、3月下旬～4月上旬に見ごろを迎え、5万本のつつじも、桜に続いて見事な紅の花を咲かせます。

Miyazaki City

派遣職員の主な業務

貸付業務

融資部では、貸付計画の策定、貸付利率の算定、一般会計債及び公営企業債の貸付け等を行っています。また、その貸付けに対する元利償還金の回収及び債権管理を併せて行っています。

その一つである貸付業務は、地方公共団体による資本市場からの資金調達を効果的に補完する役割として、長期かつ低利の資金を融通しており、令和元年度は、1,681団体、総額1兆6,647億円の貸付けを行いました。

その中で、派遣職員は、地方公共団体からの借入申込みに基づいて、地方債の同意又は許可の有無、借入れに必要な議会の議決や予算措置等の状況について適正かどうかを審査しています。さらに、貸付後は各団体に赴き、貸付金の使途状況を調査する等、債権管理を行っています。

資金調達業務

JFMは、地方公共団体に対する貸付原資を主に「地方公共団体金融機構債券（以下「JFM債」という。）」の発行により資本市場から調達しています。

資金部は、債券発行・元利払い事務及び資金運用・管理事務を取り扱っており、その中で派遣職員は、JFM債発行に係る実務を担っています。JFM債発行に係る実務には、証券会社との事務的調整、投資家動向の分析、IR（投資家向け広報）の実施及び資金運用計画の策定等があり、長期かつ低利な資金を融資するため、安定的な資金調達を行うとともに調達手段の多様化に日々取り組んでいます。

地方支援業務

地方支援部では、地方公共団体のニーズにあわせて、財政運営の健全性の確保や資金調達をはじめ地方公共団体の財政運営全般にわたって必要な支援を実施する「地方支援業務」を展開しています。

派遣職員は、主に、地方公共団体の財政運営、資金調達等について全国各地で実施するセミナー・研修の企画、実施等の業務に携わります。地方財政に関するテーマを題材としたセミナーなどを全国各地で開催するほか、資金調達に関する出前講座や実務支援の実施にあたっては、金融の専門知識を有する自治体ファイナンス・アドバイザーと協力して、日々の業務に取り組んでいます。

金融の専門知識と地方行政の課題を知ることで幅広い視野が培われます

概要

- 公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律とその関係条例に基づく職員の派遣です。
- 派遣期間は、概ね2年です。
- 派遣職員の給与については、派遣元団体で支給されている給与を踏まえて格付けの上、機構において支給します。
- 派遣職員の住居については、機構において職員宿舎を準備します（東急田園都市線「二子玉川駅」、「駒沢大学駅」、「たまプラーザ駅」付近）。
- 派遣期間における長期給付、短期給付及び介護保険に係る事業主負担分については、機構において負担します。

STAFF INTERVIEW

01 貸付業務

宮崎県
宮崎市
から派遣

オン・オフともに良好な人間関係の中、融資者サイドの貴重な業務を経験

融資管理課に所属し、地方債の貸付における審査業務をメインに、融資の申込システムの管理業務にも携わっています。派遣元では金融やシステムに関する業務経験は一切なく、ゼロからのスタートでした。不安もありましたが、派遣当初に同じ部の先輩が研修を通して基礎的な部分を指導してくださり、その後も、日常的にサポートをしてくださるので、安心して業務に取り組むことができています。さらに、分からないことがあれば財政経験のある同僚に気軽に相談できる環境なので、新しい刺激も受けながら知識が身についていると実感しています。融資部はJFMの中でも、チームワークで業務を進める機会が多い部門です。業務の情報や課題を皆で共有し、困りごとがあれば全員でフォローし合える体制が整っています。職員の一体感が強く、繁忙期もチーム一丸となって乗り越えようという気風があるところに、大きな魅力を感じています。

業務以外の面でも、さまざまな地域出身の職員と親交を深められる部分が、JFMの魅力です。職員同士の年代が近いということもあり、近い距離感で気兼ねなく接しています。同僚たちと観光や旅行に出かけることもあり、プライベートでも充実した時間を過ごせています。

出向後は業務や職員との交流を通して得た知識を派遣元で活用していきたいと考えています。活用にあたっては、宮崎市に合わせた形に工夫して反映していきたいです。今後、実際に融資の申込書をつくる立場になる可能性もあるので、融資する側の経験や視点も活かしながら業務に携わっていきたいと思います。

融資部 融資管理課
中村 真太朗

ONE DAY

ある1日のスケジュール

08:30	〈 出 社 〉	メールチェック、業務システムの立ち上げ
09:00	〈 融 資 〉	借入申込書のチェック
13:00	〈 研 修 〉	地方財政や 金融に関する研修に参加
15:00	〈 会 議 〉	融資システムの改修に関する会議
17:15	〈終業・退社〉	地方公共団体からの問い合わせに対応

STAFF INTERVIEW

02 資金調達業務

岩手県
花巻市
から派遣

金融のプロと向き合い
各地の職員と交流した
かけがえのない経験を
地元の資金運用に役立てたい

資金部 資金課
藤本 郁恵

現在、資金課で「金利スワップ」という交換取引に係わる業務を担当しています。金利スワップとは、固定金利と変動金利の交換を行い、貸付と資金調達の時期の違いから生じる金利変動リスクの軽減を図る取り組みです。取引相手である証券会社や銀行といった、いわゆる“金融のプロ”の方々とリアルタイムで交換取引を行っています。専門性の高い業務に最初は戸惑いましたが、同じ課の先輩方に支えていただきながら、徐々に業務に慣れ、金融の知識も身についてきたと感じています。

資金課は機構内の業務だけでなく、投資家や地方公共団体への訪問などを通じて、地方へ出張に出かける機会も多い部門です。さまざまな地域の職員とお話しさせていただく場面も多く、いち地方公共団体職員として、自分自身の勉強にもつながっています。

また、JFM全体の業務として、地方金融状況調査というものがあり、私は沖縄県を訪問しました。3日間で本島と離島合わせて3つの地方公共団体を訪ねるというハードなスケジュールではありましたが、担当の方々にJFMの支援制度を直接ご紹介させていただくなど、密度の濃い時間を過ごすことができました。

派遣元である花巻市に戻ってからは、JFMで身につけた金融の知識と各地への訪問経験を活かして、市の職員のみなさんと協力しながら、より良い資金運用の体制づくりができればと考えています。

OFF TIME

勤務時間外の過ごし方

終業後 単身者用の寮でリラックス

世田谷区にあるJFMの寮でゆっくり過ごすことが多いです。駅から徒歩圏内で女性専用、何より部屋が綺麗！初めて実家を出る人でも安心して暮らせる環境が整っています。

休日 都内劇場で観劇

休日には、都内近郊のショッピングエリアやテーマパークなどに出かけることもあります。趣味の一つである観劇も、休日の楽しみです。都内には大小さまざまな劇場があり、観劇好きにはたまらない街だと思います。

STAFF INTERVIEW

03 地方支援業務

三重県津市から派遣

専門性と主体性をJFMで身につけ、周囲をリードできる職員へと成長していきたい

地方支援部 調査企画課
田中 裕貴

地方支援業務の一つである実務者セミナーの企画・運営業務に携わっています。私が担当しているのは、先進的な取り組みを行う地方公共団体や、国の指針を出す総務省の職員を講師として招き、具体的な事例を交えながら制度の活用法をご紹介いただく「地方公営企業セミナー」の企画・運営です。この業務をはじめ、地方支援部では、職員一人ひとりが担当業務の“専門家”として、主体的に自身の業務を進行しています。チームプレーが中心であった派遣元とは異なるワークスタイルで、緊張感もありますが、日々着実に成長していると実感しています。

また、金融の基礎知識はもちろん、業務に関わる地方財政や地方税制度を学ぶためのプログラムが用意されているなど、職員向け研修制度が充実しているところもJFMの魅力です。JFMが主催する地方公共団体向けの研修に、我々職員が参加するケースもあります。中でも個人的に印象に残っているのが、3泊4日の宿泊型研修です。地方公共団体の職員をはじめ、銀行で勤務経験があり、金融に精通している自治体ファイナンス・アドバイザーたちと、グループディスカッションを中心に財政・金融の知識を深め合うことができ、有意義な時間を過ごすことができました。さらに、ほかの地域の地方公共団体の職員と施策や課題などについて話す機会もあり、数多くの新しい発見がありました。

このような主体性を有する業務経験を通じ、地元の津市を俯瞰的に見つめることのできる新たな視点を身に付け、一刻も早く、周囲をリードしていけるような芯の強い職員になりたいと思っています。

EPISODE

印象に残る出来事

広報誌の記事を作成

JFMが発行する広報誌で、「地方公営企業セミナー」の事例紹介に関するコンテンツ作成に携わった経験が印象に残っています。当日の講演内容や資料の要点をまとめ、原稿を作成しました。慣れない作業に苦労もありましたが、セミナーについての自分自身の理解度を再確認でき、記事が完成した際には大きな達成感を得られました。

成長をサポートする制度と働きやすい環境

◈ 充実した研修制度

JFMでは、派遣された職員が地方財政や金融等に関する知識・経験を有する職員として成長し、地方公共団体の経営に一層役立つ有益な人材となるように充実した研修制度をご用意しております。

JFMで勤務した経験が将来にわたる財産となり、地方の人材育成に貢献できるよう努めています。

◈ 研修制度一例

地方財政と金融に関する職員研修

地方財政制度研修
金融基礎研修
自治体の財政分析等
年間10回

資格取得やスキルアップのための経費支援

簿記2級以上
英検2級以上
TOEIC対策講座
銀行業務
証券アナリスト
等

宿泊型研修

資金調達等に係る
金融知識の
習得を目指す
短期集中研修
在任中1回

各種研修の概要・テキスト等は、
JFMのホームページからご覧いただけます。
http://www.jfm.go.jp/support/training/training.html

◈ 職員住宅を完備

東急田園都市線二子玉川駅、駒沢大学駅、たまプラーザ駅付近に住宅（単身用・世帯用）を完備しています。

二子玉川住宅

東急田園都市線「二子玉川駅」から徒歩12分

駒沢ハイム

東急田園都市線「駒沢大学駅」から徒歩11分

青葉住宅

東急田園都市線「たまプラーザ駅」から徒歩6分

金融で地方財政を支え　地域の未来を拓く

地方公共団体金融機構

Japan Finance Organization for Municipalities

所在地

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1番3号 市政会館

経営企画部

秘書役室　TEL 03-3539-2629　企画課　TEL 03-3539-2674

お問い合わせ先

この派遣は、地方三団体（全国知事会、全国市長会、全国町村会）の斡旋により実施しておりますので、お問い合わせにつきましては、各事務局又は地方公共団体金融機構経営企画部秘書役室へお願いいたします。

（公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所　提供）

交通案内

都営地下鉄三田線「内幸町」下車（A7）徒歩2分
東京メトロ丸ノ内線「霞ケ関」下車（B2）徒歩4分
東京メトロ千代田線「霞ケ関」下車（C3）徒歩3分
東京メトロ千代田線「日比谷」下車（A14）徒歩3分
JR線「新橋」下車徒歩8分、または「有楽町」下車徒歩12分

ホームページにて、「職員派遣 ご案内」の動画公開中です。パンフレットと併せてご覧ください。

地方公共団体金融機構ホームページ　http://www.jfm.go.jp/

令和2年4月発行